

ELEC小学校英語教育ワークショップ
2019年12月27日

小学校外国語の指導と評価、 そして小中連携

小泉仁（東京家政大学）

今日のメニュー

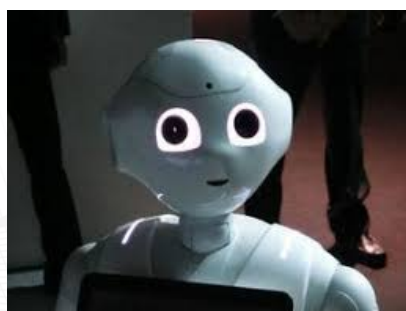
- 自分の英語教育観を確認しよう
- 指導と評価のことを確認しよう
- 小・中の英語の違いを考えよう
- Small Talk と Meaningful Drill

グローバル化と英語教育観

グローバル化とは何か。

■英語ができるとグローバルな人材か？

■AIが発達するから、いずれ、英語は学ばなくてもよい？



「外国語教育観」とは ...

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

(小学校学習指導要領解説 外国語・外国語活動編)

外国語教育観：正確性 vs. 流暢さ

■ 正確性 (accuracy)

正しく覚えて正しく再現できること

■ 流暢さ (fluency)

必要な場面や状況で意味のやりとりが滞らないこと

外国語教育観：学んでから使う vs. 使いながら学ぶ

■ たくさん聞かせる (input)

S. Krashen (1977)

→ 理解可能で豊富なインプット

■ 使わせてみるのが大切 (output)

M. Swain (1985)

→ 言いたくなるように仕向ける

■ 意味のあるやりとりをしながら向上する (interaction)

M. Long (1996)

外国語教育観：

— 「4つの大切」はなぜ大切？

smile,

clear voice,

eye contact,

response

評価の観点の整理

【旧】（H22）

評価の4観点

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解

【現行】（R2）

学力の3要素
= 評価の3観点

知識及び技能

思考力・判断力
・表現力等

主体的に学習に
取り組む態度

「評価規準」の作り方の基本形

- 知識 【言語材料】について理解している。
- 技能 【事柄・話題】について【言語材料】などを用いて、【内容】を伝え合う技能を身に付けている。
- 思考・判断・表現
【目的等】に応じて、【事柄・話題】について、【内容】を伝えあっている。
- 主体的に学習に取り組む態度
【目的等】に応じて、【事柄・話題】について、【内容】を伝え合おうとしている。

「外国語」評価規準の設定例:

知識

身の周りのものを表す語や I like/want/have ..., Do you ...? What do you ...? の表現について理解している。

技能

自分や相手のことについて、身の周りのものを表す語や I like/want/have ..., Do you ...? What do you ...? を用いて考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。

「外国語」評価規準の設定例(続き):

思考・判断・表現

新しくやってきたALTのことを理解したり自分のことを伝えたりするために、自分や相手のことについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちを伝え合っている。

主体的に学習に取り組む態度

...を伝え合おうとしている。

「学びに向かう力・人間性等」の評価

「主体的に学習に取り組む態度」を評価、 評価に入れる。

■外国語活動:外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

■外国語:外国語の背景にある文化に対する他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

☆特に、外国語活動を通じた**非認知的能力の伸長**に着目!!

■「感性、思いやりなど」(評価には入れない)

→ 児童ひとりひとりの**良い点、可能性、進捗の状況**などを評価

Small Talk は何のため？

- (1) 既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図る
- (2) 対話を続けるための基本的な表現の定着を図る

文部科学省『小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック』

Small Talk は何のため？

- 方略的能力(繰り返す・相づちを打つ、質問をする)を伸ばす
- 新しい文型ではなく、既習事項を用いる
- 型の練習よりも、内容の理解を重視する
- 児童を巻き込む small talk を目指す

- 興味・関心のある身近な話のモデルを担当が示す
- 担任の日常は、児童には新鮮な体験
- 実物・写真・絵などを使うと効果的

文法は？

- I ate chicken.
- I ate chickens.
- I like chicken.
- I like chickens.

■ 原則：好きな食べ物は単数・無冠詞
好きな生き物は、複数・無冠詞



Thank you very much.



mkoizumi@teacher.nifty.jp